

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	かねこしょうじ 金子勝司	大学院における研究 指導担当資格の有無	無
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
実践指導力を身に付けさせる教育方法		平成22年4月～現在	授業でのスポーツやレクリエーション、子どもの体育指導の講義に加え、これらの対象を大学に招き運動指導や実践方法についての実習を行っている。また週一回、学生に近隣の保育園、体育施設等で学習する機会を作り、実技や子どもを指導する機会を作っている。		
・大学と地域の連携活動の方法の実践例		平成24年7月～現在に至る	地域の教育委員会、学校、施設と連携し、子ども(障がい児も含む)を対象とした運動教室を実施。学生達に、企画・教室の運営・体育指導等の実際を学ばせている。		
異世代交流事業(幼稚園・保育園)への参加		平成18年～現在	近隣の小学校・幼稚園等の行事等に関わり、子ども達と触れ合う機会を作っている。子ども達とコミュニケーションの取り方、行事(会の運営)のあり方を学ぶ機会をつくっている。		
毎回の講義の概要および要点のプリントを作成		平成7年～現在	講義の効率化をはかり学習を助けるため、毎回の講義の概要と要点をプリントして、資料として配布している。また、質問等に対応するための時間の設定等も用意した。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
8・9期 子ども運動教室 平成27年度活動報告書		平成28年3月	健康福祉学部のスポーツ福祉指導演I(幼児)、教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。		
10期 子ども運動教室 平成28年度活動報告書		平成28年10月			
11期 子ども運動教室 平成28年度活動報告書		平成29年3月			
12期 子ども運動教室 平成29年度活動報告書		平成29年10月	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。		
13期 子ども運動教室 平成29年度活動報告書		平成30年3月			
14期 子ども運動教室 平成30年度活動報告書		平成30年10月			
15期 子ども運動教室 平成30年度活動報告書		平成31年3月	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。		
16期 子ども運動教室 令和元年度活動報告書		令和元年10月			
17期 子ども運動教室 令和元年度活動報告書		令和2年3月			
平成28年度 学校インターンシップA・学校インターンシップB活動報告書		令和1年8月	平成28年度に実施した、学校インターンシップA(小学校)・学校インターンシップB(中学校)の実習の内容、学生の活動報告をまとめたものである。平成29年度の学校インターンシップA、Bの授業において使用している。		
平成29年度 学校インターンシップA・学校インターンシップB活動報告書		平成30年3月～現在	平成29年度に実施した、学校インターンシップA(小学校)・学校インターンシップB(中学校)の実習の内容、学生の活動報告をまとめたものである。平成29年度の学校インターンシップA、Bの授業において使用している。		
イラスト アダプテッド・スポーツ概論 東京教学社		平成29年4月～現在	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、主に子どもを対象としたの運動・レクリエーションプログラムや子どもや高齢者の運動・レクリエーション環境等の解説時に活用している。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
兵庫県赤穂市教育委員会主催 幼児体育研修会 - 大学との共同研究・連携 - 講師(講演)		平成26年8月	講師(講演)		
兵庫県赤穂市教育委員会主催 幼児体育研修会 - 大学との共同研究・連携 - 講師(幼稚園教諭対象の実技指導)		平成26年8月	講師(幼稚園教諭対象の実技指導)		
和歌山県粉河保育園 保護者参観において実技と講演		平成28年2月	講師		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
和歌山県粉河保育園		平成26年9月～現在	体育指導講師		
こども運動教室(大阪体育大学)		平成24年6月～現在	企画・運営責任者		
岸和田市教育委員会 心技館子ども体操教室		平成28年11月～現在	体育指導講師		
N T T ドコモと共同研究グループ 研究員(岩手県立大、桜美林大、北里大、大阪体育大) 高齢者の転倒予防や暮らしの見守りにつながるスマートホンアプリの開発研究		平成27年12月	研究員		
岸和田市ニュースポーツフェスタ		平成30年3月～現在	実行委員		
岸和田市スポーツ推進審議会委員		令和1年8月	審議会委員		
II 研究活動					
著書(単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書(共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
第5章 幼少期の子どもと地域スポーツ/地域に生きるこどもたち	共著	pp72～87	創世社	東京	平成26年3月
第13章 アダプテッド・スポーツとしてのレクリエーション/アダプテッド・スポーツ概論	共著	pp170～178	東京教学社	東京	平成29年4月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。）							
題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
幼児・児童に対する投能力向上を目指した短時間トレーニング指導の有効性	山田一典・金子勝司		総合人間科学	第1号	pp115-120	平成25年3月	
地域の体育教室・スポーツクラブが及ぼす社会的意義について－自由記述からの分析－	金子勝司・中野一茂		大阪千代田短期大学研究紀要	第41号	pp43-54	平成25年12月	
下肢に障がいがある者と健康者の比較から筋・腱形態の発育発達を探る	山田一典・金子勝司他		総合人間科学	第1号	pp129-136	平成25年3月	
幼児の遠投距離測定からボールスピードを推定する	山田一典・金子勝司他		福岡子ども短期大学 研究紀要	第25号	pp91-96	平成26年3月	
「子ども運動教室」が子どもに及ぼす社会的意義について	金子勝司・大月和彦		文教大学 教育学部2014	48巻	pp79-88	平成26年12月	
保育園の延長保育時間におけるプレイヤーによる身体活動の活性化の試み	佐近慎平・金子勝司		自由時間研究 2016年3月	第41号	pp14-22	平成28年3月	
運動教室実施後の子どもの行動変化について－年齢・性差・障がいの有無の違いからの考察－	金子勝司・大月和彦		生活科学研究所紀要	第39集	pp205-214	平成29年3月	
新潟県阿賀野市保育園児の運動能力と生活習慣の社会的検討	佐近慎平・金子勝司		総合人間科学研究	第5号	pp9-18	平成29年3月	
障がい児を対象としたスポーツクラブの提案－わくわくアダプテッド・スポーツクラブの事例－	曾根裕二・金子勝司他		大阪体育大学 教育学研究	第1巻	pp35-42	平成29年3月	
保育園の遊環構造の有無による運動能力是正の試み	佐近慎平・金子勝司		自由時間研究	第42号	pp3-11	平成29年3月	
保育園児の運動能力と生活習慣の社会的検討	佐近慎平・金子勝司他		総合人間科学	vol. 5	pp9-18	平成29年3月	
地域在住高齢者における歩行時の身体動揺に関連する要因について	竹内亮・金子勝司他		大阪体育大学 教育学研究	第2巻	pp37-45	平成30年3月	
性差・年齢・障がいの有無の違いにみる運動教室への入会動機についての考察	金子勝司・佐近慎平他		総合人間科学研究	第6号	pp95-106	平成31年3月	
保育士の身体的有能さの認知と運動遊び指導時の不安要素の検討	中曾根裕・金子勝司		総合人間科学研究	第7号	pp31-44	平成31年3月	
新潟県村上市の保育園児の運動能力と生活習慣の社会的検討	佐近慎平・金子勝司		総合人間科学研究	第6号	pp3-12	平成31年3月	
中学生の学内外のスポーツ・運動に関する実施状況と課題－非実施者のスポーツ・運動支援について考える－	金子勝司・大月和彦		生活科学研究所紀要	第41集	pp59-69	平成31年3月	
幼児の体力向上のための保育者・スポーツ指導者へのレクリエーション教育の効果	佐近慎平・金子勝司		自由時間研究	第43号	pp22-27	平成31年3月	
スポーツコーチの保育園児への教授力形成のための活動分析を用いた学習プログラムの開発	佐近慎平・金子勝司		自由時間研究	第44号	pp3-10.	令和1年3月	
総説							
題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）							
区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
研究ノート	障がいの有無、性差からみた運動教室の社会的意義について－子ども運動教室に参加する保護者の調査からの考察－	共	金子勝司（筆頭）・大月和彦	生活科学研究所紀要	38巻	pp225～230	平成28年3月
研究ノート	保護者が子どもの運動教室の入会に関する決定要因について－性差・年齢・障がいの有無からの考察－	共	金子勝司（筆頭）・大月和彦	生活科学研究所紀要	第40集	pp1～6	平成30年3月
実践報告	大阪体育大学教育学部 平成29年度野外活動実習実践報告（実践報告）	共	金子勝司（筆頭）他	大阪体育大学 教育学研究	第2巻	pp1～15	平成30年3月
実践報告	2012年度 大阪体育大学健康福祉学部スポーツ福祉系 活動報告－月例勉強会の開催－	共	曾根裕二・金子勝司他	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	第10巻	pp79～84	平成25年3月
実践報告	教育実習の活動実践報告	単	金子勝司	大阪体育大学健康福祉学部健康福祉実践研究センター研究紀要	VOL. 1	pp63～75.	平成26年3月
実践報告	5期子ども運動教室活動報告	単	金子勝司	大阪体育大学健康福祉学部健康福祉実践研究センター研究紀要	VOL. 1	pp43～55	平成26年3月
実践報告	平成27年度 子ども運動教室活動報告書「8期子ども運動教室」「9期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部健康福祉実践研究センター活動報告書	第1巻	pp1～151	平成28年3月
実践報告	平成29年度 学校インターンシップA・学校インターンシップB 活動報告書	共	陳洋明・金子勝司他	大阪体育大学 教育学部	第2巻	pp1～105	平成30年3月
実践報告	平成28年度 学校インターンシップA・学校インターンシップB 活動報告書	共	陳洋明・金子勝司他	大阪体育大学 教育学部	第1巻	pp1～107	平成29年3月
実践報告	10期子ども運動教室の実践報告	単	金子勝司	健康福祉実践研究センター研究紀要	第3号	pp21～34	平成29年3月

実践報告	9期子ども運動教室の実践報告	単	金子勝司	大阪体育大学 教育学紀要 第1巻	第1巻	pp95～106	平成29年3月
実践報告	平成28年度 子ども運動教室活動報告書「10期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 活動報告書	第2巻	pp1～140	平成29年3月
実践報告	平成28年度 子ども運動教室活動報告書「11期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 活動報告書	第3巻	pp1～112	平成29年3月
実践報告	平成29年度 子ども運動教室活動報告書「12期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第4巻	pp1～112	平成30年3月
実践報告	平成29年度 子ども運動教室活動報告書「13期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第5巻	pp1～104	平成30年3月
実践報告	平成30年度 子ども運動教室活動報告書「14期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第5巻	pp1～130	平成30年10月
実践報告	平成30年度 子ども運動教室活動報告書「15期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第6巻	pp1～144	平成31年3月
実践報告	令和元年度 子ども運動教室活動報告書「16期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第7巻	pp1～148	令和1年9月
実践報告	令和元年度 子ども運動教室活動報告書「17期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第8巻	pp1～140	令和2年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
研究会	平成29年6月	日本レクリエーション協会平成29年度全国研究集会 実践・研究発表会	保育園の遊環構造の有無による運動能力差は正の試み	京都学園大学	佐近慎平
国内(一般演題)	平成29年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会大会	体育系大学が主催する障がい児を対象としたスポーツクラブの試み～主に重度知的障がい児を対象として～	早稲田大学	
国内(一般演題)	平成28年10月	第76回日本公衆衛生学会大阪	スマートフォンを活用した転倒予防の取り組み - 転倒予防体操の効果と普及の可能性 -	グランフロント大阪	
国内(一般演題)	平成28年10月	第76回日本公衆衛生学会大阪	自立および虚弱高齢者における足趾把持力の年代別比較	グランフロント大阪	
研究会	平成28年6月	日本レクリエーション協会 公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 平成28年度全国研究集会 実践・研究発表	保育園の延長保育時間における プレイリーダーによる 身体活動の活性化の試み	徳島文理大学	佐近慎平

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
その他の助成金	日本レクリエーション協会 平成29年度 研究助成事業	幼児の体力向上のための保育者・スポーツ指導者へのレクリエーション教育の効果	分担	平成29年3月～30年3月	162,000
その他の助成金	平成30年（公財）日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議研究助成事業	「遊びを介した保育の力量形成のための保育者へのレクリエーション教育プログラムの開発」	分担	平成30年4月～令和1年3月	100,000
その他の助成金	令和1年（公財）日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議研究助成事業	「レクリエーション指導／支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証」	分担	令和1年4月～令和2年3月	100,000

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成25年8月～	日本アダプテッド体育・スポーツ学会（現在に至る）
平成12年4月～	日本生涯スポーツ学会 会員
平成21年4月～	日本幼児体育学会 会員
平成29年4月～現在	日本発育発達学会
平成29年4月から現在	日本学校メンタル学会
平成27年4月～平成30年3月	日本社会医学学会
社会的活動	
平成28年8月	日本体育学会 大会実行委員（大阪体育大学）
平成26年3月	第26回日本生涯スポーツ学会 大会実行委員（大阪体育大学）
平成26年4月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 大会実行委員（神戸女学院大学）
平成29年4月～現在	岸和田市スポーツ推進計画策定委員会 委員（顧問）

平成22年4月～現在	公益財団法人 大阪府レクリエーション協会 課程認定校 幹事
平成27年4月～現在	文教大学 生活科学研究所 客員研究員
令和1年8月～現在	岸和田市スポーツ推進審議会委員
令和1年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 大会実行委員 (大阪体育大学)

IV 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成27年4月～平成29年3月	教育学部 教務委員会
平成29年4月～現在	教育学部 カリキュラム委員会
平成24年4月～平成27年3月	健康福祉学部 キャリア委員
令和1年4月～現在	教育学部 キャリア委員会
令和1年4月～現在	社会貢献センター 副センター長
令和1年4月～現在	国際・地域交流委員会
特別プロジェクト活動	

V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	幼児体育研究会 (同好会)	部	2. 役職	顧問 平成24年～現在	3. 部員数	33 人
4. 現場指導の頻度	③ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)						
開催期間	大会名		成 績	場 所		

VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考